

脳科学研究所講演会 「オンライン実験の現状と課題」

2020年6月16日(火)にZoomを用いて脳科学研究所講演会「オンライン実験の現状と課題」をオンライン開催した。近年の、新型コロナウイルス感染症の流行の中、インターネット上でヒトを対象とした実験を実施する試みに注目が集まっている。そのような背景の中、社会科学実験用プログラム(oTree)を用いたオンライン実験の方法とその問題点について明治大学情報コミュニケーション学部の専任講師である後藤晶先生に話題提供をしていただいた。

(脳科学研究所 高岸治人)

〈開催日時〉 2020年6月16日(火) 13:00～14:30

〈開催場所〉 Web開催 (Zoom)

〈講演者〉 後藤 晶 (明治大学情報コミュニケーション学部 専任講師)

〈講演要旨〉

従来、インタラクションのある経済ゲーム実験を行う際には、実験室を中心に行われてきた。しかし、情報技術の発展に伴い、必ずしも実験室ではなくとも実験が可能な環境が整いつつある。その一つがweb上で実行可能な実験プログラムを用いて、実験を行う方法である。web上で実験が可能となれば、学生参加者をリクルートする形式で実験を行うこともできれば、クラウドソーシングなどを用いて不特定多数の実験参加者を対象として実験を行うこともできる。しかしながら、実験環境をラボ実験のように統制できない、実験参加者が途中で離脱してしまうなど、従来のラボ実験とは異なった問題が発生することがある。本報告においては、いくつかの実験を例としてオンライン実験の現状と、その抱える課題および考え得る対応策等について報告する。

